「日本は開戦に追い込まれた」

本紙主催 目良浩一氏講演会

約200人来場、熱気に包まれ

ポ語版の著書刊行記念も兼ね

「東京裁判はやり直しが必要です。その時にはルーズベルトのような人たちも呼び出して、裁判すべきだと思います」―。アメリカで慰安婦像撤去裁判などの活動を行う「歴史の真実を求める世界連合会」の代表、目良浩一氏（81）による講演会『日本の近代史を正しく理解しよう』が1日午後、広島文化センターで行われた。約200人の来場者で満場となった会場は熱気に包まれた。目良さんの著書『マッカーサーの呪いから目覚めよ日本人！』（桜の花出版、2012年）のポルトガル語版『A Verdade sobre a Guerra do Pacifico』（ニッケイ新聞社刊）の刊行を記念したもので、販売も行われた。同書は本紙、日系書店で販売中（50レアル）。

講演中の目良氏

目良氏は、まず当時の世界情勢から振り返り、なぜ日本が米国との開戦に踏み切らざるを得なかったかを、多くの書籍や米軍の秘密文書から引用し、詳説した。

日本が物資に困窮したため海外へ進出した過程を説明。29年の世界大恐慌で、世界的に経済が大打撃を受け、アメリカを含む列強諸国が自給自足体制へ移行し、自国および植民地内だけで貿易するようになった。

輸出入依存国であった日本は大打撃を受け、独自の市場を見つけるために満州進出を開始した。

米国は列強諸国に比べ進出が遅れており、中国の権限を獲得しようとしていたが、満州に進出していた日本を大きな障害であると考えた。

39年にドイツがポーランドに侵入して第2次大戦が始まった頃、米国では外国の戦争への参加を嫌う国民感情が蔓延していた。そのため40年の大統領選挙時、ルーズベルトは国民に、外国の戦争に関与しないことを約束。しかし彼は「ただし、米国が攻撃されたときは別である」と、例外条項を追加していたという。

満員となった会場

米国が41年7月に在米日本資産を凍結し、8月には英国、オランダとともに日本への石油の全面輸出停止を実施。これは日本への影響が重大で、残された選択肢は「降伏するか戦うか」であったという。

そして同年8月、近衛文麿首相がルーズベルト大統領に会談を申し込み、拒否された。目良さんはこの出来事を、「日本の最後の望みが粉砕された」と語った。

41年11月には、「満州国、インドシナからの完全撤退」などを条件としたハルノートが、日本に通告された。日本は到底承諾できない条件を突きつけられ、誘導される形で、真珠湾攻撃を実行したと述べた。

「東京裁判で侵略者とされた日本は犠牲者であって、西洋の侵略と戦い45年まで独立を保ったことを誇りとすべき」と結論づけると、会場からは大きな拍手が起こった。

質疑応答の後に行われたサイン会では、本を購入した参加者が列を作った。「日本人がまず真実を知り、目良先生の運動を広めたらよいと思う」（伊藤昭治さん、56、京都）、「ブラジルでは皆、日本人としての誇りを持ち続け、守ろうとしている。目良先生はそれを正当化して話してくれた（大野正人さん、68、香川）、「正しい日米開戦の理解を、具体的に資料を根拠に教えてもらった」（大山省三さん、78、鹿児島）などの感想が聞かれた。

目良さんが「北米に比べ、ブラジルの日系人は、伝統的な日本人の良さを持っている。日本の日本人に対して、『日本人はこうあるべきだ』と共に呼びかけていきましょう」と語りかけると、共感した会場から喝采が送られた。

この講演会は二ッケイ新聞社主催、ブラジル日本研究者協会、ブラジル日系協会、ブラジル日本会議、パンアメリカン日系人協会、ブラジル広島文化センターが後援した。

目良さんが活動する「歴史の真実を求める世界連合会」は、米国グレンデール市の慰安婦撤去運動などへの支援金受け付けている。詳しくは同会ＨＰ（https://gahtjp.org/）。

大耳 小耳

午後2時開演だった目良氏講演会。一番乗りだったのは、なんと午前11時半から待っていた女性で、開演前には数十人の列までできていた。ジャカレイやソロカバなど地方からも多くが訪れ、関心の高さをうかがわせた。講演前には満場となり、椅子を増やすほどの盛況ぶり。目良さんによれば、政治問題となっている同地では、講演会の入口でセキュリティーチェックが行われる厳戒態勢だとか。目良氏も当地では終始リラックスした様子で、「アメリカの日系社会にはない反応」と話していた。まさに両側を知る人にしかできないコメントだ。

◎

ミカ幼稚園の作品展示会では今年、特別に手作りの「とんこつラーメン」を販売する。県人会では北海道、福島がラーメン祭りを行なっており、7月の日本祭りでは兵庫も提供した。東洋街の専門店の中には毎日行列が出来るところもあるが、まさか幼稚園の行事でも扱うようになるとは――。とはいえ、先生らが3日も煮込んだ本格的なスープが自慢らしい。同園は太鼓が有名だが新たな名物になるかも？限定100杯なので、気になる方は前売り券の購入を。

希望胸に17人が日本へ

月末出発の国費留学生を歓送

日本政府（文部科学省）による国費留学生17人が9月末から訪日するのを前に、8月25日午後、在聖総領事館で歓送会が行なわれた。日本語・日本文化研究留学生（日研生）12人、学校教育に関する研究を行う留学生（教研生）4人、大学推薦による研究留学生1人が選ばれた。

中前隆博総領事は、「日語教育などの専門分野学習に加え、日本人の長所を知って帰ってきて。各国から集う専門家とも親交を持ってほしい」との言葉を送った。文科省国費留学生同窓会（ABMON）の山根英太郎名誉会長やOBも激励に訪れた。

日研生の湯原ゆりさん（26、三世）は「日本の小説が大好き。もっとスムーズに読めるように語学勉強に励みたい」と意気込んだ。教研生のヒルトン・ロドリゲスさん（22）は琴を10年間習っているという大の親日家で、私立サンルーカス高校に勤務する。長崎大学に留学するに当たり、「日本の教育制度を学びたい。どんな問題をどう解決しているのか知りたい」と語った。

当地の要請を受け日研生の内、新たに日系人推薦枠が2つ設けられた。日系企業で研修中の北林けい子さん（20、三世）は、「将来、日伯をつなぐような職場で働きたい。ビジネス面のコミュニケーション能力を身につけたい」。カンピーナス州立大工学部の山本栄一さん（20、三世）は「日伯では計算式の使い方に違いがある。両国の差を見つけ、良い部分を持ち帰りたい」と意欲的に語った。

歓送会に臨んだ17人の留学生（後列）ら

目指せ自己好記録！

全伯日系陸上、27日

アナスピ・ベテラーノ会（河崎義男会長）は『第27回全伯日系地区対抗陸上競技大会』を27日午前7時半から、聖市イビラプエラ区のバス・ギマランエス競技場（Rua Manoel da Nobrega, 1361）で開催する。

ノロエステ、スドエステ、パラナ、イビラプエラ、ピラチニンガ、モジ、パウリスタ、コペル・コチア、アナスピの9チームから500人が出場し、男女・年齢別に分かれて短中距離走、円盤なげ、走り高跳び、リレーなどの種目で競う。

案内のため来社した河崎会長と宮村憲治前会長は、「選手は皆年をとっても元気で、自己の好記録を目指して奮闘します」と参加を呼びかけた。

申込みは河崎会長（11・5621・4012）、森岡なおみさん（同・5523・7253）まで。

今週末の催し

19日（土曜日）

青葉祭り、午前7時、宮城県人会館（Rua Fagundes, 152）

◎

花といちごの祭典、午前9時、エドムンド・ザノニ市立公園（Av. Horacio Neto, 1030, Atibaia）、日曜日も

◎

龍馬会定例会、午後2時、同会（Largo da Polvora, 96, sala 4, Liberdade）

◎

CIATE原爆投下70周年の集い、午後3時、文協（Rua Sao Joaquim, 381）

20日（日曜日）

リ・歩こう友の会日帰りキャンプ、午前7時リベルダーデ広場発

◎

聖西移民祭り、午前9時、ニコラ・ヴィヴィレチオ公園（Rua do Tesouro, 362, Taboao da Serra）

◎

コチア青年60周年記念式典、午前10時、国士舘大学（Rod. Bunjiro Nakao, SP-250, km 48, Sao Roque）

◎

スピコン&弁論大会、午後1時、広島文化センター（Rua Tamandare, 800）

園児の工作やラーメンも

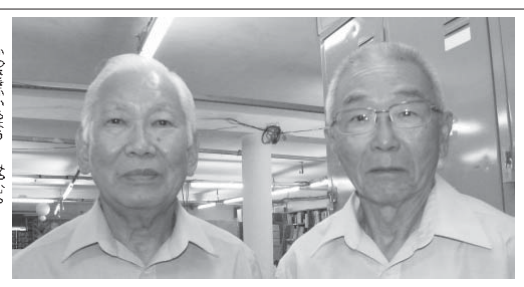
ミカ幼稚園作品展、19日

ミカ幼稚園（辻澤和恵園長）が恒例の『園児作品展』を、19日午前11時から同園（Rua Paracatu, 60, Saude）で開催する。

2～5歳まで約30人の園児らが段ボール、新聞紙、使い古しの布などで作った工作が展示される。太鼓や歌、最後は盆踊りも行なわれる。食事の広場では、数日前から仕込む特製とんこつラーメンや寿司、から揚げ、デザートを用意。

来社した吉本緑さん、辻澤優美さんは、「子どもたちの豊かな創作を見に来てください。おいしいラーメンもぜひ」と呼びかけた。

問合わせは同園（11・5585・9258）。


河崎会長と宮村さん

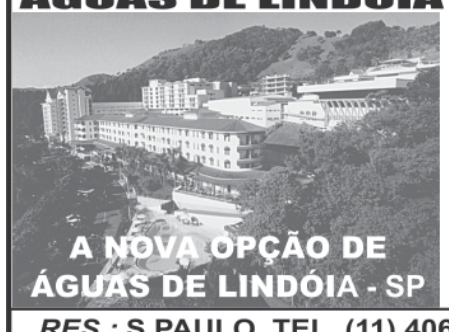
辻澤さん（左）と吉本さん

PERFUMARIA TAKEO たけお店 化粧品専門 二九四一・九二三三

病気平癒・健康祈願 南米神宮 R. Estado de Israel, 76 Vl. Clementino - S. Paulo - SP Fone: (11) 5575-4783 www.temploxintoista.org.br

HANDA & HANDA – ADVOCACIA Dr. PEDRO HANDA Rua da Glória, 332 - sala 51 Liberdade - São Paulo - SP Tel. 3271-0806 – Cel. 98208-3650 Atendo em Japonês

HOTEL MONTE REAL RESORT 収容人数６４３２人のコンベンションセンター ÁGUAS DE LINDÓIA



Reserve já: FERIADO 12 de OUTUBRO

9 PISCINAS, 3 AQUECIDAS E COBERTAS, Garagens Cobertas, 4 Saunas, 4 Quadras de Tênis, 2 Quadras de Squash, Sala de Ginástica, Quadras de Vôlei, Basquete, Futebol de Salão e Peteca, Salas de: Pebolim, Ping-Pong, Snooker, Carteado, Leitura e Estar, 2 Restaurantes, Bar "Pub-Inglês, Equipe de Recreação, Play-Ground, Música ao Vivo, Apartamentos com Instalações Completas, Vista Panorâmica da Praça projetada por Burle Max.

RES.: S.PAULO TEL. (11) 4063-7481 - ÁGUAS DE LINDÓIA (19) 3924-9200 (13) 4062-9347 (21) 4062-7004 (31) 4062-7008 - www.montereal.com.br

quantum group サンパウロ－リオデジャネイロ－東京

コンサルティングをベースに２カ国３都市の拠点を活用し市場開拓に必要なマーケティングから、泥臭いルート開拓、そしてブラジル市場に合った企画・制作まで一気通貫にご提案します。

ご相談・ご提案は無料ですので、ご気軽にお声がけ下さい。

事業計画策定・見直し　インセンティブ恩典・認証取得　市場深耕マーケティング　イベント展示会企画

quantum consultoria ブラジル TEL：(11)3262-0781 日本 TEL：81-3-3509-7830